

周防大島町の話題



▲完成したオリジナルアロハを着用する、藤本町長、山口県立大学の水谷由美子教授（前列㊤）、周防大島高校の大田真一郎校長（右から3番目）と生徒の皆さん

オリジナルアロハシャツ完成！

周防大島町、山口県立大学および周防大島高校の包括的連携協定の取組の一つ「周防大島高校アロハ・プロジェクト」で制作を進めていたオリジナルアロハシャツの完成品 150 着が仕上がりに、3月9日、周防大島高校にて引き渡し式が行われました。今後、周防大島高校のさまざまな行事や地域イベントで活用される予定となっています。

また、このプロジェクトと併せて行われた山口県立大学研究創作活動「周防大島のハワイ化計画に関する実践的研究」で制作した宮本常一スタイルのアロハシャツおよび法被も披露され、藤本町長に贈呈されました。

山口県産業ドローン協会と協定を締結

3月25日、周防大島町と山口県産業ドローン協会は、「災害時等におけるドローンを使用した支援活動に関する協定」を締結しました。

この協定は、周防大島町内において、地震、風水害その他災害が発生した場合に、土砂災害等の程度や二次災害の発生の有無等、災害現場の被災状況、また発生の恐れがある場合における現場等の状況を、迅速にドローン無人航空機で撮影し映像や画像を確認することで、災害状況を素早く把握し、後の対応が速やかに行えるよう支援することを目的としています。



▲協定を結んだ藤本町長と山口県産業ドローン協会の藤井光秀会長㊤



▲大島オレンジライオンズクラブの柳居俊学会長㊤から周防大島高校 生徒代表の山崎心結さん㊤、内田空玖海さん㊤へ目録が贈呈されました。

活動エリアに記念品を寄贈

3月29日、大島オレンジライオンズクラブから周防大島高校へ視聴覚教育用の大型ディスプレイセット、映像機器および応接用ソファセットの贈呈が行われました。

これは、令和3年11月14日に設立50周年を迎えた大島オレンジライオンズクラブが、記念事業として活動エリアである東和・橘地区の公共施設に記念品を贈呈したいという考えから、橘地区では、周防大島高校と調整を行い実施されたものです。

また、この記念事業では、東和地区の道の駅サザンセットとうわにも、ポール掲揚台の設置・贈呈が行われる予定となっています。